

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	06029-1	事業名	一般事業(水産業費)	部名	環境産業部
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造			室名	農政室
	基本施策	04:自然との共生			財	会計 一般会計
	施策の方向	03:水辺環境の保全			務	款 農林水産業費
	戦略プロジェクト				科	項 農林水産業費
					目	目 水産業費

② 目的・概要	対象	鈴鹿川漁業協同組合
	目的・概要	鈴鹿川流域における漁業の振興を図るため、魚の放流事業や川の環境整備事業を行う鈴鹿川漁業協同組合を支援する。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称	魚の放流数	計画値			
		補足	稚あゆ、あめごの放流数	実績値	380	380	350
				単位	kg	kg	kg
	成果	② 名称		計画値			
		補足		実績値			
				単位			
① 補足	名称	鈴鹿川遊漁者数	計画値				
			実績値	96	89	88	
			単位	人	人	人	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					補助金の活用により、魚の放流(あゆ200kg、あめご150kg)が行われた。			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	148	平均給与額×③
		事業費		460	460	一般職員人件費 ②	148	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.02	
		県支出金				臨時職員人件費 ④	0	
		地方債				受益者負担額 ⑤	0	⑤ / ⑥
		その他				受益者負担率	0.0%	
		一般財源		460	460			
		再	翌年度への繰越額		0			
		掲	前年度からの繰越額		0			
		総人件費		①	148			
	総コスト		⑥	608				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	魚の放流や川の環境整備によりあゆ漁やあめご漁を楽しむ人が多く訪れ、余暇の有効活用、健康増進、川の環境整備に対する理解が図れた。	総合判定	A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	鈴鹿川の清流を保全するため、鈴鹿川漁業協同組合が行う魚の放流事業や川の環境整備事業を継続して支援する必要がある。		
	【改善の方向性】	市民の余暇の有効活用、健康増進の場となる鈴鹿川の清流を保全するため、魚の放流事業などに継続して支援を行う。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 農政室長 宮崎 哲二	